

RCNP研究会報告

タイトル 超冷中性子国際会議 UCN2010

期日 2010年4月8～9日 RCNP

参加者数 61名

その中で、米国8名、カナダ4名、ロシア3名、フランス4名、ドイツ1名、スイス2名

世話人 増田康博 (KEK)、畑中吉治 (RCNP)、松多健策 (阪大理)、Jeffery Martin (Winnipeg)、鄭 淳讚 (KEK)、渡邊 裕 (KEK)

Webページ <http://fnp.kek.jp/workshop/20100408/index.html>

この国際会議は、2002年に外国人を交えてKEKで開かれた中性子基礎物理研究会を発端に、2005年RCNPでの国際超冷中性子研究会、2007年TRIUMFでのUCN workshopを経て発展してきたものをベースにしている。今回は、世界の第一線で活躍している研究者を招いて、超冷中性子物理について議論した。超冷中性子源の話13件、中性子EDMの話7件、中性子β崩壊の話4件、重力や新しい相互作用の話4件について議論した。また、RCNPに建設した次世代超冷中性子源の見学会を行い、超冷中性子源、EDM実験装置の実物を見ながら、実務的な議論も活発に展開した。

RCNPでの研究成果について、世界に向けた情報発信、現在、世界で行われている超冷中性子実験の知識収集、そして、これらを通して諸外国の研究者との交流を深めることに成功したと考えている。実際、カナダと米国から、RCNPでの共同実験の更なる申し込みを受けた。また、日本の若手研究者の教育にも貢献できたと考えている。

発表されたスライドは研究会Webに公開されている。